放射線レポート未読率

算式

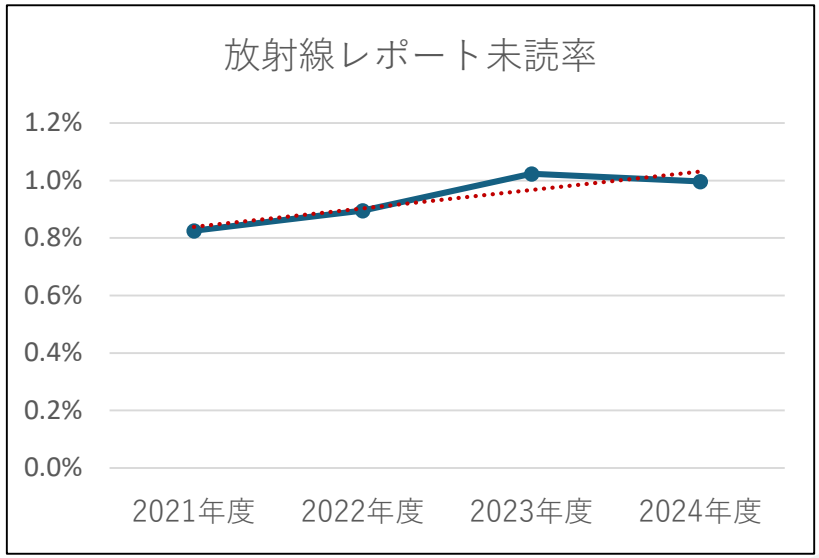
未読件数/総件数×100（%）

対象

単純レントゲン、CT、MRI、核医学検査・マンモグラフィ・血管造影検査レポート

考察

すべての画像検査結果を確認し、診療に反映させることは、画像診断をオーダーした医師の重要な責務である。当院では、放射線科医が作成した画像診断レポートが必ず確認されるように、管理システムを導入して既読・未読レポートの数を把握している。また、重大な所見を含むレポートに関しては放射線科医がアラートを出し、主治医以外の医療　スタッフもレポートを確認する体制を整え、見落としの防止に努めている。放射線レポートの未読率の報告は少ないものの、基幹病院では1～10%程度と報告されている。
当院の未読率は他院と比較しても低い水準にあるが、近年は微増傾向にある。



計画

未読が多い診療科や医師の異動に伴うレポート未読に対して、今後も注意喚起を行う。
放射線レポートの未読率を0%にすることを目標とし、さらなる業務改善に努める。
継続的なモニタリングを行い、対策の効果を評価していく。